

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	児童デイサービス リズム西新井			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 8 月 4 日 ~			令和 7 年 8 月 29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和 7 年 8 月 4 日 ~			令和 7 年 8 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 10 月 9 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・調理活動を通して、実生活に直結するような調理工程からメニューを考え、季節を感じ、みんなで作ってみんなで味わう活動をおこなっている。	・衛生面や安全面にも十分に配慮している。 ・活動前には、手洗い・消毒、エプロン・手袋の着用。包丁や加熱機器の扱いについても職員がサポートしている。	・調理を通じて、生活の中で自信をもって過ごせるように、利用者様の生きる力に繋げていけるように、安心・安全であたたかい支援を続けていきます。
2	・調理以外の活動でも、一人ひとりのペースに合わせて、無理なく成功体験が積み重ねられる環境づくりを心がけています。	・活動内容の中で、自分で選べる場面を意識的に行っている。自分の意見が反映されることで活動への意欲と主体性が見られます。	・選ぶことが難しい場合も、写真や見本を使ったり、職員が一緒に考えたりしながら、安心して挑戦できるようにサポートしていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・環境面として、出入口から駐車場までの距離がある。	・出入口から駐車場までの距離があるため、外出・送迎時には、安全確保に十分配慮が必要な環境です。	・利用時の安全を第一に考え、必ず職員が付き添いながら移動しています。 ・外出・送迎の際も周囲の確認や誘導を丁寧に行い、保護者の皆さまにも安心してご利用いただけるように努めます。
2	・保護者同士の交流や家族が参加できる研修が少ない	・個別の相談やアドバイスはできているが、多くの保護者を対象とした研修や情報提供の取り組みは出来ていない。	・会社全体で勉強会や交流の場を設けられるよう計画していく。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	児童デイサービス リズム西新井							公表日 令和 7 年 10 月 31 日
			利用児童数			19名		回収数
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		1		保護者参観や、リズム通信等を活用して保護者様に分かりやすく伝えています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	3				適切な人員配置をしております。 今後も一人ひとりに対して適切な支援ができるように体制を整えてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	1		2		主になる活動スペースは、バリアフリーとなっております。 トイレは、段差がある為、職員が注意喚起をしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1				活動の内容に合わせたり、体調不良者や等状況に応じて、静養室を活用しております。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2				職員の専門知識の向上のために、研修・勉強会を行っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11			1		お子様の様子や、保護者様のニーズに合わせた個別支援計画を作成してまいります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		3		個別支援計画に記載されておりますので、ご不明な点がありましたら、お気軽にお声がけください。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1		計画に沿った支援をさせていただいているが、ご不明な点がありましたら、お気軽にお声がけください。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8			4		今後もお子様が楽しんでいただけるように、活動の内容等を見直し、改善してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	3	4		地域施設や公園等で遊ぶ機会はもうけていますが、今後は、状況を見ながら地域交流ができるように前向きに検討をしてまいります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	2		1		契約時に、運営規定や、ご利用事項の説明を行っております。
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				年2回、個別支援計画の見直しを面談を通じて行い、保護者様のご意見から、支援内容の変更等を行っております。 ご不明な点がありましたら、お気軽にお声がけください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	1	2		家族支援プログラムは、必要に応じて検討をしてまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	12	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1			定期的に行っておりますが、何かお困りごとがありましたら、お気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	4		状況に応じて、必要とあれば前向きに検討をしてまいります。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2		2		ご相談等をお受けした際には、迅速かつ適切に対応ができるように努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	2		1		連絡帳や、送迎時の申し取りでやり取りをさせていただけております。何かご相談ごとがありましたら、お気軽にお声がけください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	2		2		毎月リズム通信を発行しております。今後は、全体での活動などをホームページやSNS等への投稿も考えてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2		今後も管理の徹底をしてまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		1		各種のマニュアルを事務所内に管理しております。保護者様には、分かりやすい周知ができるよう努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			1		年2回の避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1				今後も分かりやすい説明と安心・安全な環境づくりに努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12					事故対応フローを職員全員が把握して、保護者様への迅速な連絡ができるよう努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	1		1		今後も安心感をもって通所していただけるように努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1		2	・朝行くときは嫌そうですが、帰ってくるときは穏やかなときが多いので、楽しめているのかなどは思います。	今後もお子様が楽しく過ごせる活動を提供できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1				今後も職員一同チームワークを大事にしながら、より良い支援を行えるよう精進してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス リズム西新井					公表日 令和 7 年 10 月 30 日
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	個別対応が必要な利用者様や、聴覚過敏のある利用者様への座席の工夫として、簡易なパーテーションを使用してスペースを確保している。		今後の利用人数によっては、パーテーションのスペースが足りなくなる時がくるかもしない。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2			・外出時はマンパワーが足りないと感じる時がある ・1対1の利用者が多く、手が足りないと感じる
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	活動の流れが目で見て分かるように、その日の活動の流れをホワイトボードに見える化する。		・トイレなど段差のある場所が多い ・トイレの位置が活動場所から見えてしまうが、パーテーションなどの隠しをしても難しい環境
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	水回りの整備。余計な物は置かない。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1			・意識が薄いと思う ・自己解決から、チーム解決へ意識を変えるために振り返りの習慣をつけていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1			・明確な場がない ・職員全員が捕ら時間を作り、振り合いができるようにする。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			・他事業所からの応援人員が入った際に、感想等を聞き、業務改善に繋げていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適 切 な 支 援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1			・地域支援、地域連携はできていない 設定はできているが周知されていないと思う ・職員間で把握しながら、支援をしていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	・毎日活動について話し合う時間を設け、日々の活動内容が固定化されないようにしている。 ・どうしてもバリエーションが増えない ・意見を出し合う機会を増やしながら、工夫していきます。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1		・時間的に参加できない職員には、打ち合わせでの決定事項をかならず共有する。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・毎日活動について話し合う時間を設け、日々の活動内容が固定化されないようにしている。 ・翌日にやっている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		・計画との照らし合わせはできていない
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			・地域交流の活動ができるいない ・希望があれば、検討していきたい。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		必要に応じて、連携していく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		できるかぎり情報共有をしていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		できるかぎり情報共有をしていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		児童発達支援センターとの連携は、必要に応じて検討していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4		・ない ・必要に応じて、検討していく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		・今後は、可能な限り参加して行く。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		研修などがある時は、アナウンスしていく。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	3		要望を伺いながら、検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		保護者の要望があれば、検討をしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			・現在、食物アレルギーの利用者がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		記録を残し、原因・対策などを話し合い、再発防止の配慮をとりながら支援している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			